

加藤昌則
プロデュース

vol.9

中嶋朋子がお贈りする ベートーヴェン朗読カルテット

2022
9.25(日)
13:00開場
14:00開演

え! 見てたの?

中嶋朋子演じる家政婦がのぞき見たベートーヴェンの波乱万丈な人生の物語を、
ピアノ・ヴァイオリン・チェロによるドラマチックな演奏で彩る朗読劇でお届けします。
「エリーゼのために」「月光」交響曲第9番「歓喜の歌」など、おなじみの名曲の数々が登場!



中嶋 朋子



小川 和久



奥村 愛



加藤 昌則

脚本 横山 一真 監修 越懸澤 麻衣

会場:レザンホール中ホール

料金: 全席指定4,000円(未就学児入場不可)

発売日: 7/10(日) 10:00~

プレイガイド:レザンホール TEL.0263-53-5503 WEB <https://www.raisin.or.jp/>

主催:(一財)塩尻市文化振興事業団 後援:塩尻市/塩尻市教育委員会

※混雑を避けるため、発売初日の
窓口販売はしておりません。
電話・WEB予約をご利用ください。



プログラム

第1部

少年ベートーヴェンが 大作曲家ベートーヴェンになるまでの軌跡

交響曲第5番「運命」より
ピアノ・ソナタ「月光」より

ほか

第2部

朗読カルテット 「家政婦は見た、知られざるベートーヴェン」

ピアノ・トリオ第2番より第4楽章
歓喜の歌(交響曲第9番第4楽章より)

チェロ・ソナタ第4番より
エグモント序曲

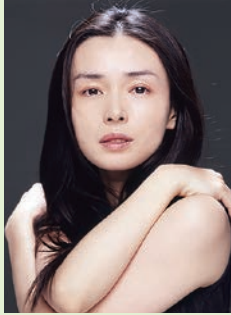
ほか

朗読

中嶋 朋子

女優。東京都出身。TVドラマ「北の国から」で22年の長きにわたり瑩役を務め、人気を博す。映画や舞台へも活躍の場を広げ、唯一無二の存在感で、国内外の演出家からの熱い信頼を得る。ナレーションや朗読、執筆活動においても、そのみずみずしい感性で根強いファンを持つ。2009年、舞台「ヘンリー六世・三部作」(鶴川仁 演出)において、第17回読売演劇大賞優秀女優賞、第44回紀伊國屋演劇大賞個人賞を受賞。その他、主な出演作に、舞台「グリークス」(蜷川幸雄 演出)、「おそるべき親たち」(熊林弘高 演出)、「岸・リトル」(上村聡 演出)、「熱帯樹」(小川絵梨子 演出)、新国立劇場シェイクスピア歴史劇シリーズ、現代サーカスグループ「仕立て屋のサーカス」、映画「家族はつらいよ」シリーズ(山田洋次 監督)、「美しい星」(吉田大八 監督)、TBSラジオ「文学の扉」パーソナリティ、などがある。

最近の活動として、20年ぶりとなるエッセイ集「めざめの森をめぐる言葉」を2021年8月に上梓。映画「やがて海へと届く」(中川龍太郎監督)が4月1日から全国劇場で上映中。また朗読劇コンサート「ことばと音楽で楽しむあべこべの世界」をピアニスト加藤昌則氏と共に全国のホールで上演。多岐に渡って活動中。



ピアノ

加藤 昌則

作曲家・ピアニスト。東京藝術大学作曲科首席卒業、同大学大学院修了。作品はオペラ、管弦楽、声楽、合唱曲など幅広く、作品に新しい息吹を吹き込む創意あふれる編曲にも定評があり、多くのソリストに楽曲提供、共演ピアニストとしても評価が高い。王子ホール「銀座ぶらっとコンサートCaféシリーズ」(企画・ピアノ)、東京・春・音楽祭「ベンジャミン・ブリテンの世界」(企画・構成)、「日生劇場ファミリーフェスティバル」(作編曲・構成)など、独自の視点、切り口で企画する公演やクラシック講座などのプロデュース力にも注目を集めている。作品は2012年オペラ「白虎」(第11回佐川吉男音楽賞)、2018年「Sixteenth Montage」(セントラル愛知響委嘱作品)ほか、数多くの作品を発表。NHK2020応援ソング「パブリカ」の合唱編曲も手掛けている。

最新CDは2017年発売「PIANO COLOURS」(エイベックス・クラシックス)。2016年よりNHK-FM「鍵盤のつばさ」番組パーソナリティーを担当。2019年より長野市芸術館レジデント・プロデューサーを務める。2022年4月、ひらしん平塚文化芸術ホール 音楽アンバサダーに就任。
Official Website www.masanori-music.com



チェロ

小川 和久

11歳よりチェロを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業し、フランス国立ポルドー音楽院へ留学。高等科、室内楽科、現代音楽科、研究科を首席で卒業し、ポルドー市栄誉賞を受賞した。

2000年には第4回「若手奏者のためのコンペティション」(現・名古屋国際音楽コンクール)ソロ部門にて優勝。最優秀者賞、朝日新聞社賞も併せて受賞。国立ポルドーオペラ座、ラムルー管弦楽団と特別契約を結び共演したほか、現代音楽グループ「Csellox, TACLOA」を結成し、フランス、スペインを中心に演奏活動を行い、多数のコンgresにも参加。

これまで、インストメンタルドゥ・コロス(コロシカ)の首席奏者を務め、2011年から山形交響楽団の首席奏者に就任した他、プレシャス・カルテット、チェロロケットトリオ・カンターナ、長岡京室内アンサンブル、山形チェンバーミュージシャンズなど、ソロ、室内楽でも幅広く活躍している。

これまでに千本博愛、Etienne PECLARDの各氏に師事。



ヴァイオリン

奥村 愛

7歳までアムステルダムに在住。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースで学ぶ。辰巳明子氏に師事。第48回全日本学生音楽コンクール全国大会中学生の部第1位、第68回日本音楽コンクール第2位など受賞多数。

2002年、「愛のあいさつ」でCDデビューを飾り、一躍楽壇の注目を集める。以来AveX Classicsより数々のCDをリリース。近年は渡辺香津美や小沢健二らの新作レコーディングに参加。国内の主要オーケストラや、世界各国のオーケストラとの共演を多数重ねている。「ラ・フォルジュルネ・オ・ジャポン」「富士山河口湖音楽祭」をはじめ、国内の音楽祭に多数参加。

リサイタル活動の傍ら「キッズのためのはじめての音楽会」をプロデュース。自身のライフワークとして位置付け、長年に渡り全国各地で上演を続けている。クラシックのみならず、ジャズ、タンゴ、アイリッシュトラッドなど様々なユニットに参加。また国内の気鋭の弦楽器奏者たちで構成された「奥村愛ストリングス」としても活発に活動。自然体なトークも好評を得ており、テレビやラジオへの出演も多い。

桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。使用楽器は1738年イタリア製のカミロ・カミリ。2022年、デビュー20周年を迎える。



撮影:小島竜生

お客様へのお願い

●本公演は新型コロナウイルス感染予防対策を講じた上で開催いたします。
お客様には感染予防対策の趣旨をご理解いただきご協力をお願い申し上げます。

お問い合わせ

Raisin Hall

〒399-0738 塩尻市大門七番町4-8

TEL0263-53-5503 FAX0263-54-1103 <https://www.raisin.or.jp>